第２講 会話長文－②

【1】 次の会話文の空所（1）～（5）に入れるのに最も適当なものをそれぞれ A ～ D から 1 つずつ選びなさい。

Sho, a Japanese exchange student, and Tom meet on campus.

Tom： I just went to a really interesting lecture. It was part of a series of lectures offered by the Psychology Department.

Sho： (1) (________________)

Tom： It was about nonverbal communication in different cultures.

Sho： What does “nonverbal” mean?

Tom： (2) (__________________) Facial expressions, gestures, and distance between speakers are common examples. For instance, in the US, if you stand too far away, the other person might think you are unfriendly.

Sho： I see. So, it’s like in Japan in the old days when students often didn’t look directly at the teacher.

Tom： (3) (________________)

Sho： No, not at all. It was meant as a sign of respect.

Tom： Oh, American teachers might have mistaken that for trying to avoid communication.

Sho： Really? (4) (________________)

Tom： I see. That’s very interesting. It’s another example of why nonverbal communication is as important as spoken language. We also often use facial expressions to show how we feel about something.

Sho： (5) (_________________) Japanese people seem to use fewer and less dramatic facial expressions than Americans.

□ （1）

A. When was it given?	B. What was the topic?
C. Why did you go?	D. How did it go?

□ (2)

A. It refers to cultures that avoid using reasons when they talk.

B. It refers to cultures that limit the free exchange of ideas.

C. It refers to communication without verbs in the sentences.

D. It refers to communication that doesn’t involve words.

□ (3)

A. Didn’t that upset the teacher?

B. Didn’t that happen in the US?

C. Did that show politeness?

D. Did that create a good atmosphere?

□ (4)

A. That’s a very important factor.

B. That would be a misunderstanding.

C. That’s the reason why I said that.

D. That would be very rude behavior.

□ (5)

A. I doubt there are many differences.

B. I doubt there are such people there.

C. I think that it depends on the culture.

D. I think that I probably do that.

【2】 次の会話文の空所（1）～（5）に入れるのに最も適当なものをそれぞれ A ～ D から 1 つずつ選びなさい。

Yuki, a Japanese exchange student, meets her friend, Mary, on campus.

Mary： Hi, Yuki. How was your first week on campus?

Yuki： It was OK. I'm getting used to things here. How about you?

Mary： I love college life. By the way, I joined the aikido club. How about you? Did you find a club that you are interested in?

Yuki： Maybe. I'm thinking about joining the drama club. (1) (＿＿＿＿＿＿＿＿＿)

Mary： I don't think that's necessary. Lots of people will be trying it out for the first time.

Yuki： (2) (＿＿＿＿＿＿＿＿＿)

Mary： Not really. Well, not since I was in elementary school. Every year there was a play, and almost all the children took part. (3) (＿＿＿＿＿＿＿＿＿)

Yuki： I'm sure they enjoyed it — at least, when they were not busy taking photographs! (4) (＿＿＿＿＿＿＿＿＿)

Mary： See, you have done some acting! Did you enjoy it?

Yuki： (5) (＿＿＿＿＿＿＿＿＿)

Mary： That's probably why you are attracted to the drama club now.

Yuki： It could be.

□ (1)

A. But it seems very expensive.
B. But I don't have any experience.
C. Do you think I should?
D. Would you join, too?

□ (2)

A. Did you ever do any drama?
B. Which club are you joining?
C. Did you have many friends in school?
D. Will you come with me?

□ (3)

A. We had a really good time.

B. The children hated doing it.

C. We did many different plays.

D. The parents would come to watch.

□ (4)

A. I wish my school had done that.

B. Audiences can be very annoying.

C. We did the same thing in my school.

D. I'm surprised anybody could see.

□ (5)

A. I can't remember.

B. Less than you.

C. Not really.

D. Yes, I did.

【3】 次の会話文の空所（1）～（5）に入れるのに最も適当なものをそれぞれ A ～ D から 1 つずつ選びなさい。

David sees Kenji, a Japanese exchange student, at his neighborhood convenience store during the spring vacation. Kenji is stacking products on the shelves.

David：Kenji, what a surprise! I didn’t know you worked here.
Kenji：Hello David. It’s nice to see you again. (1) (＿＿＿＿＿＿＿＿)
David：Really? How’s it going?
Kenji：Not very well. I’ve been making a lot of mistakes.
David：Don’t worry. (2) (＿＿＿＿＿＿＿＿)
Kenji：I guess you’re right. Do you have a part-time job?
David：(3) (＿＿＿＿＿＿＿＿) I worked at a restaurant last year, but I quit.
Kenji：Why was that?
David：The boss was very difficult to work for.
Kenji：Oh? (4) (＿＿＿＿＿＿＿＿)
David：He was really particular about everything, even very minor details.
Kenji：I see. People like that can be hard to get along with.
David：They certainly can. Anyway, that’s all over now. By the way, I’d like to ask you more about Japan. Maybe we could talk about it sometime when you’re not busy.
Kenji：Sure. (5) (＿＿＿＿＿＿＿＿) See you later.
David：Okay. Bye.

□ (1)

A. Why didn’t you know that?
B. I only started this job a few weeks ago.
C. I’m afraid I don’t work here anymore.
D. You come here every week, don’t you?

□ (2)

A. I’m sure you’ll get used to it soon.
B. You’ll do fine on the final exam.
C. I can help you if you’d like.
D. Things are sure to get harder.

□ (3)

A. Sure, I think I do.

B. Not at the moment.

C. No, I’ve never had a job.

D. Yes, I work all the time.

□ (4)

A. I’m often difficult, too.

B. It’s hard to wait, isn’t it?

C. What was the problem?

D. I thought you were the boss.

□ (5)

A. I’m never busy.

B. I’m always free.

C. But I don’t know anything about it.

D. But I’d better get back to work now.

□【4】 次の会話の（あ）～（え）それぞれの空所に入れるのに最も適当な表現を（1）～（10）から 1 つ選びなさい。

On the telephone

A： Oh, hello Liz. What's up?
B： Actually, I have to talk to you about tonight.
A：（ （あ） ）What about it?
B： Unfortunately, I'm going to have to miss it this time.
A： Really?（ （い） ）
B： No — it's not about my schedule. The problem is my back.
A： Oh, did you strain it again?
B： Yes, I sure did!（ （う） ）Then when I sneezed because of all the dust, my back just froze up. Now I can hardly move, not to mention doing all that stretching.
A： I'm so sorry to hear that. Do you need me to help you with anything?
B：（ （え） ）You just go on to yoga class without me.
A： Okay, I'll do that. Take good care of yourself!

（1） Did you hurt yourself?
（2） It's been so cold lately.
（3） Thanks, but I'll be okay.
（4） Did something come up?
（5） You mean our yoga class?
（6） Which class do you mean?
（7） Oh yes — photography class!
（8） I was sweeping the floors this morning.
（9） I was in the middle of taking a shower.
（10） Could you come over and help me fix dinner?

第２講　会話長文 - ②　解答

【1】

（1）B　（2）D　（3）A　（4）B　（5）C

和訳

ショウ（日本人の交換留学生）とトムはキャンパスで会っています。

トム　：今ちょうど，本当に面白い講義に行ってきたんだ。心理学部の連続講義の一部だったよ。

ショウ：どんなテーマだったの？

トム　：様々な文化における非言語コミュニケーションについてだったよ。

ショウ：“nonverbal” ってどういう意味？

トム　：言葉を使わないコミュニケーションのことだよ。表情，ジェスチャー，それから話している人同士の距離が一般的な例かな。たとえばアメリカでは，立っている場所が遠すぎると，相手によそよそしいと思われる可能性があるんだ。

ショウ：なるほどね。じゃあ，生徒が先生を直接見ないことが多かった昔の日本と似ているね。

トム　：先生はそれで困らなかったの？

ショウ：いや，全然。それが尊敬の証だとされていたんだ。

トム　：へえ，アメリカの先生だったら，コミュニケーションを避けようとしていると勘違いしていたかもしれないな。

ショウ：本当？　それは誤解だよ。

トム　：なるほど，すごく面白いね。それもまた，非言語コミュニケーションが話し言葉と同じくらい重要である理由の一例だね。僕たちは，何かについて自分がどう感じているかを表すために，表情もよく利用するよね。

ショウ：それは文化によると思うな。日本人はアメリカ人よりも，表情豊かではないし，その表情の程度も控えめなように思われるよ。

選択肢の和訳

（1）A. それはいつ開講されたの？　B. どんなテーマだったの？

C. どうして行ったの？　D. どのように進んだの？

（2）A. 会話の際に理由を用いるのを避ける文化のことだよ。
B. 自由な意見交換に制限がある文化のことだよ。
C. 文章で動詞を使わないコミュニケーションのことだよ。
D. 言葉を使わないコミュニケーションのことだよ。

（3）A. 先生はそれで困らなかったの？ B. それはアメリカでは起こらなかったの？
C. それが礼儀正しさの証だったの？ D. それでいい雰囲気が生まれたの？

（4）A. それはとても重要な要因だね。
B. それは誤解だよ。
C. それが，僕がそう言った理由なんだ。
D. それはとても無礼な振る舞いだね。

（5）A. 多くの違いはないんじゃないかと思うよ。
B. そこにそんな人々はいないんじゃないかと思うよ。
C. それは文化によると思うな。
D. 僕は多分そうすると思うよ。

【2】

（1）B　（2）A　（3）D　（4）C　（5）D

和訳

ユキ（日本人の交換留学生）は，友人のメアリーとキャンパスで会っています。

メアリー：こんにちは，ユキ。キャンパスでの最初の一週間はどうだった？
ユキ　　：楽しかったわよ。ここでの勝手にも慣れてきたわ。メアリーはどう？
メアリー：大学生活がすっごく楽しいわ。ところで，私，合気道部に入ったの。ユキはどう？　興味のある部活は見つかった？
ユキ　　：まあね。演劇部に入ろうかと思っているの。でも，経験が全くなくて。
メアリー：経験はいらないと思うわよ。多くの人が初めてチャレンジするはずよ。
ユキ　　：メアリーは何か劇をやったことはある？
メアリー：いいえ，あんまり。うーん，小学生以来やってないわ。小学校では毎年劇があって，ほとんど全生徒が参加したの。親たちが観に来たものよ。
ユキ　　：きっと親は楽しんだでしょうね ― 少なくとも，写真を撮るのに忙しかった時以外は！　私の学校でも同じだったわ。
メアリー：ほら，ユキにも劇の経験があるじゃない！　その劇は楽しかった？
ユキ　　：ええ，楽しかったわ。
メアリー：多分それが，ユキが今演劇部に惹かれている理由なのね。
ユキ　　：そうかもしれないわ。

選択肢の和訳

（1）A. でも，かなりお金がかかりそうなの。　B. でも，経験が全くなくて。
　　C. そうするべきだと思う？　D. あなたも入る？

（2）A. 何か劇をやったことはある？
　　B. どの部活に入る予定なの？
　　C. 学校の友達は多かった？
　　D. 私と一緒に来る？

（3）A. 本当に楽しい時間を過ごしたわ。
B. 子供たちはそれが嫌いだったの。
C. 私たちはたくさんの様々な劇をやったわ。
D. 親たちが観に来たものよ。

（4）A. 私の学校でもそれをやっていたらなぁ。
B. 観客はとてもうるさくなる可能性があるわ。
C. 私の学校でも同じだったわ。
D. 誰でも観に行けたことに驚いてるわ。

（5）A. 覚えてないわ。
B. あなたよりは少ないわ。
C. いいえ，あんまり。
D. ええ，楽しかったわ。

【3】

（1）B　　（2）A　　（3）B　　（4）C　　（5）D

和訳

デイビッドは，春休み中にケンジ（日本人の交換留学生）を近所のコンビニで見かけました。ケンジは商品を棚に積んでいます。

デイビッド：ケンジ，びっくりしたよ！　君がここで働いていたなんて知らなかった。
ケンジ　　：やあ，デイビッド。また会えてうれしいよ。ここでは 2 ～ 3 週間前に働き始めたばかりなんだ。
デイビッド：そうなんだ？　どんな感じ？
ケンジ　　：あんまりうまくはいってないな。ミスしてばかりだ。
デイビッド：大丈夫だよ。きっとすぐに慣れるさ。
ケンジ　　：そうだね。デイビッドはバイトしてるの？
デイビッド：今はしてないよ。去年はレストランで働いてたんだけど，辞めちゃったんだ。
ケンジ　　：何で辞めたの？
デイビッド：上司が，その人のもとで働くのはとても難しいような人だったんだ。
ケンジ　　：ええ？　何が問題だったの？
デイビッド：ほんの些細なことまで，あらゆることについて本当に小うるさい人だったんだ。
ケンジ　　：なるほどね。そういう人たちは，一緒にやっていくのが難しいこともあるよね。
デイビッド：絶対にそうさ。どちらにしろ，今となってはもうすべて終わった話さ。ところで，日本についてもっと教えてほしいな。ケンジが忙しくない時にいつか話そうよ。
ケンジ　　：もちろん。でも今は仕事に戻らなきゃ。また後でね。
デイビッド：オッケー。じゃあね。

選択肢の和訳

（1）A.　何でそれを知らなかったの？
　　B.　ここでは 2 ～ 3 週間前に働き始めたばかりなんだ。
　　C.　残念ながらここではもう働かないんだ。

D. 毎週ここに来るよね？

（2）A. きっとすぐに慣れるさ。
B. 最終試験ではいい点取れるよ。
C. もしよければ手伝うよ。
D. 状況は間違いなくより困難になっていくよ。

（3）A. もちろん，やってると思う。
B. 今はしてないよ。
C. ううん，働いたことがないんだ。
D. うん，いつも働いてるよ。

（4）A. 僕も気難しい時が多いよ。
B. 待つのは難しくない？
C. 何が問題だったの？
D. 君が上司と思ってた。

（5）A. 全然忙しくないよ。
B. いつも暇だよ。
C. でもそれについて何も知らないよ。
D. でも今は仕事に戻らなきゃ。

【4】

（あ）（5）　　（い）（4）　　（う）（8）　　（え）（3）

和訳

電話で

A：あら，こんにちは，リズ。どうしたの？

B：実は，今夜のことで話があって。

A：ヨガ教室のこと？　それがどうしたの？

B：残念なことに，今回は欠席しないといけなさそうなの。

A：ええ？　何か用事ができたの？

B：いえ，スケジュールの問題じゃないの。問題は私の背中なの。

A：あら，また痛めたの？

B：ええ，そうなのよ！　今朝，床の掃除をしていてね。その時に，ほこりを一気に吸い込んだせいでくしゃみをしたら，背中が固まっちゃったの。今はほとんど動けなくて，もちろんストレッチ運動なんてとても無理。

A：お気の毒にね。何か手伝ってほしいことはある？

B：ありがとう，でも大丈夫よ。私にかまわずにヨガ教室に行っておいでよ。

A：わかった，そうするわ。お大事にね！

選択肢の和訳

（1） けがをしたの？

（2） 最近はすごく寒いわね。

（3） ありがとう，でも大丈夫よ。

（4） 何か用事ができたの？

（5） ヨガ教室のこと？

（6） どのクラスのことを言ってるの？

（7） ええ，そうよ ― 写真教室よ！

（8） 今朝，床の掃除をしていてね。

（9） シャワーを浴びている最中だったの。

（10） 来て，夕飯の支度を手伝ってくれない？